

I 平成30年度みえスタディ・チェックの概要

1 目的

- ・児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、子どもたちの学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

2 実施日及び対象学年・対象教科、実施校数

	第1回	第2回
実施日	実施基準日：4月18日（火） ※上記実施日を含め、4月17日（月）から4月21日（金）までの期間に実施	実施基準日：1月30日（水） ※上記基準日を含め、1月15日（火）から2月15日（金）までの期間に実施
対象学年	小学校4年・5年 中学校1年・2年	小学校5年 中学校2年
対象教科	国語、算数・数学、理科	国語、算数・数学
実施校数	小学校 352校 中学校 152校	小学校 351校 中学校 144校

3 第2回みえスタディ・チェックについて

(1) 改善点

第2回（1月実施）は、4月実施からの定着状況の確認や経年での比較検証ができるよう、これまでのみえスタディ・チェックや全国学力・学習状況調査の問題を活用し、同一、同趣旨の問題で作成しました。

(2) 結果を活用した取組

- 学校や市町教育委員会が、設問別に過去の状況と比較分析し、子どもたちの「できていない」ことを「できる」ようにする取組を年度内に計画的に進め、どれだけ「できるようになったか」を確認できるよう、次の取組を行いました。
 - ・学校ごとの過去の正答率や今回の正答率等を一覧にし、市町教育委員会に提供しました。（1月、3月）
 - ・各設問に対応したワークシートを、市町教育委員会を通じて学校に提供（2月）しました。
- 市町教育委員会では、県が提供した正答率一覧を活用して、所管する学校の設問ごとの改善状況を分析し、学校の状況に応じた支援を進めています。
- 学校では、設問別に「できていない設問」を把握し、子どもたちの状況に応じてワークシート等を計画的に活用して、理解・定着につなげる取組を行い、その取組による定着状況の把握を進めています。

4 第2回みえスタディ・チェックの各教科の改善状況

(1) 教科別の平均正答率

《結果》

小中学校ともにいずれの教科も過去からの改善が図られています。

小学校では算数、中学校では国語が大きく改善しています。

小学校5年生	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
国語	57.5%	52.7%	+4.8
算数	55.4%	48.4%	+7.0

中学校2年生	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
国語	58.0%	51.3%	+6.7
数学	53.3%	49.7%	+3.6

(2) 教科別の改善された設問数 (全設問数に占める改善された設問数の割合)

小学校5年生	改善された設問数 (割合)
国語	11/17問 (64.7%)
算数	10/15問 (66.7%)

中学校2年生	改善された設問数 (割合)
国語	12/16問 (75.0%)
数学	14/17問 (82.4%)

(3) 設問別の改善状況

① 第1回 (4月実施) の同一の問題で出題した設問

《結果》

小学校5年生と中学校2年生が4月に実施した同じ問題で正答率を比較すると、いずれの設問も改善が図られていますが、中学校数学の割合の設問は、改善が十分ではありません。

小学校5年生	設問番号と出題内容	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
国語	1- (5): 「きかい (機会)」 (書き)	55.4%	19.5%	+35.9
	1二 (2): 文の主語を選択 (接続語を含んだ文)	54.6%	36.0%	+18.6
算数	1 (3): 親パンダの体重は子パンダの体重の何倍か	87.8%	54.8%	+33.0
	2 (1): 180°より大きい角の大きさ	44.9%	24.2%	+20.7
	2 (2): 山を下るのにかった時間	52.8%	36.0%	+16.8

中学校2年生	設問番号と出題内容	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
国語	1-1: 「前途」 (読み)	75.1%	57.9%	+17.2
	1二1: 「しよち」 (書き)	63.2%	41.6%	+21.6
	1四ア: 文の主語を選択	67.9%	59.5%	+8.4
数学	1 (5): 今月 akg で先月より 20%多いときの先月の量	5.3%	3.0%	+2.3
	2 (2): 反比例のグラフ	63.1%	48.8%	+14.3

② 平成30年度(29年度)全国学調の同一の問題で出題した設問
《結果》

小学校6年生、中学校3年生が4月に実施した全国学調と同じ問題で正答率を比較すると、改善が十分ではありません。

小学校国語の漢字を書くことや算数の「除法の意味の理解」で、改善が図られていません。

小学校5年生	設問番号と出題内容	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
国語	1- (3): 「せい限」(書き)	49.9%	72.5%	- 22.6
	1二(3): 主語と述語がつながり合っていない文を選択し、文を正しく書き直す	35.9%	33.5%	+ 2.4
算数	1 (2): $12 \div 0.8$ で求められる問題	27.6%	36.9%	- 9.3
中学校2年生	設問番号と出題内容	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
国語	1四イ: 心を打たれるの意味	95.4%	94.7%	+ 0.7
	1四ウ: 主語を明らかにした一文	23.0%	20.1%	+ 2.9
数学	3 (1): 三角形の合同条件を使って証明	47.6%	46.1%	+ 1.5
	3 (2): 図形の性質を用いて、角度を求める	61.4%	59.5%	+ 1.9
	5 (1): 中央値という語句	53.4%	50.4%	+ 3.0
	5 (3): 度数分布多角形の特徴を説明	17.5%	16.3%	+ 1.2

③ その他の設問で過去からの改善の図られていない設問
《結果》

過去に実施したみえスタディ・チェックや全国学調と同じ問題で正答率を比較すると、改善が図られていない設問があります。

国語では、要約や引用して自分の考えを書くことに課題があります。

算数・数学では、基本的な四則計算に課題があります。

小学校5年生	設問番号及び出題内容	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
国語	1- (1): 「加える」(読み)	93.8%	94.3%	- 0.5
	1- (4): 「そうだん」(書き)	61.2%	61.7%	- 0.5
	1二(1) 2: 文の主語を選択(修飾語、被修飾語を含んだ文)	54.7%	55.6%	- 0.9
	2-: 登場人物の関係	72.7%	73.9%	- 1.2
	2三: 登場人物の気持ちについて自分の考えをまとめる	33.1%	36.4%	- 3.3
算数	1 (1): $6 \div 0.5 \times 2$ の計算	62.3%	63.2%	- 0.9
	3 (1): 計算の結果の見直し	92.3%	94.5%	- 2.2
	5 (2): 数の表す意味	65.2%	68.1%	- 2.9
	5 (3): 合計を表すグラフ	75.5%	76.1%	- 0.6
中学校2年生	設問番号及び出題内容	今回の県平均正答率	過去の県平均正答率	改善状況
国語	1三イ: (白羽の矢が)立つ	49.7%	51.9%	- 2.2
	1三ウ: (手塩に)かけて	50.7%	57.7%	- 7.0
	1六: 単語の類別(動詞)	55.3%	58.0%	- 2.7
	3-: 物語文の表現の工夫	63.5%	63.8%	- 0.3
数学	1 (1): $2/5 \times 0.6$ の計算	60.6%	66.7%	- 6.1
	1 (4): 等式の変形	65.9%	67.1%	- 1.2
	5 (2): 相対度数を求める式	41.4%	42.4%	- 1.0

5 みえスタディ・チェックの分析総括

(1) 国語、算数・数学（第2回みえスタディ・チェックを中心に）

小学校5年生	改善点	課題
国語	・「段落ごとの内容を捉えること」について定着が図られました。	・「主語と述語がつながりあっていない文を選択し、文を正しく書き直すこと」や経年的課題である「文章を要約すること」、「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」は、改善が十分ではありません。
算数	・「 180° よりも大きい角の大きさを求めること」や「条件に合う時刻を求めること」について定着が図られました。	・ $6 \div 0.5 \times 2$ のように「整数と小数の四則計算」に課題が見られます。 ・「 $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選択すること」や「わる数が1より小さくなる場面で何倍かを求めること（ $16 \div 40$ ）」について課題が見られます。

中学校2年生	改善点	課題
国語	・「修飾語などの言葉の特徴やきまり」について定着が図られました。	・「主語を明らかにして文を書くこと」や「要約して書くこと」は、改善が十分ではありません。
数学	・「垂線の作図方法」について定着が図られました。	・ $2/5 \times 0.6$ のように「分数と小数の四則計算」に課題が見られます。 ・「割合などを含む数量関係を文字式に表すこと」や「資料の傾向を的確に捉えること」は、改善が十分ではありません。

(2) 理科（第1回みえスタディ・チェックを中心に）

<小学校>

改善点	課題
・「昆虫の育ち方の順序」や「植物の体のつくりの共通点」について定着が図られました。	・「温度計を適切に操作すること」や「実験結果をもとに考察して分析すること」に課題が見られます。

<中学校>

改善点	課題
・「水の深さと水圧の大きさの関係」や「蒸散のはたらき」について定着が図られました。	・「実験結果をもとに考察して分析すること」や「顕微鏡を適切に操作すること」、「特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めること」に、課題が見られます。